

## ●6年制学科のカリキュラムの特色

【医療薬学教育のバイオニア】 本学は医療薬学教育のバイオニアとして、他大学に先駆けて「学内モデル薬局」を整備し、そこでの事前学習および病院・薬局実務実習を全員必修とする教育を日本で初めて取り入れました。現在、「医療薬学教育センター」で充実した医療薬学教育を行っています。2021年4月から最新の設備を備えた新校舎「未来創造館」で卒業研究やアドバンス教育を行っています。

【ヒューマニズム・医療倫理教育の体系的導入】 医療の高度化や複雑化に対応する能力の基盤を教育するとともに、行動変容のためのヒューマニズム教育や医療倫理教育を体系的に導入しています。1年次に初年次教育として「薬学入門」、2年次に「コミュニケーション交流学習」、3年次に「生命倫理」、4年次に「患者の視点に立った行動」「事前学習」、5年次に「実務実習」「実務実習後学習」等で、実践しています。

## ●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

本学は日本で最初の「医療薬学教育の実践」を教育理念とする薬学部として1982年（昭和57年）4月に開設され、開設当初から大学院（博士前期課程）の2年間を含めた6年間教育による臨床薬剤師の育成を実践してきました。薬学6年制を先取りした形の教育を長年実践してきたため、実務実習への取り組みは充実しています。学生の希望に応じてふるさと実習（帰省先での実習）を推進していますし、他大学にない特徴として、実務実習中に3回の実務実習セミナーを開催し丁寧な実習指導を行っています。また、Webシステムを導入してインターネット上で教員、学生および指導薬剤師の情報交換ができるようになっており、実務実習におけるサポート体制は万全です。その他、長年の教育実績を生かした特徴として、多くの卒業生（先輩薬剤師）が医療現場で後輩の実務実習を応援しており、5年生は先輩の指導のもとに安心して実務実習を行うことができます。

## ●病院実習先・薬局実習先

主な病院・診療所名

帰省先の国私立大学病院、国立病院機構、基幹公立病院、基幹一般病院などがあります。広島県における主な病院は、JR広島病院、井野口病院、中国労災病院、興生総合病院、三原赤十字病院、三菱三原病院、尾道市立市民病院、JA尾道総合病院、公立みつぎ総合病院、福山医療センター、福山市市民病院、中国中央病院、日本鋼管福山病院、市立三次中央病院、庄原赤十字病院などがあります。他県についても同様の施設で実習を行っています。61カ所

主な保険薬局

薬局実習先・帰省先の保険薬局で実務実習を実施しています。広島県における主な薬局は、ファークロス、ネクサス、総合メディカル、ファーマシィ、ウォンツ薬局、プレひまわり、サン・メディカル、エスマイル、タワメディカル、さくらグループ、アリチ薬局、サンハンス、三原薬品、一般社団法人三原薬剤師会などがあります。他県においても同様の施設で実習を行っています。93カ所調整機構により実習先を確保

## ●アドバンス(臨床)実習

卒業後、医療現場などでファーマシューティカルケアを実践するために、実務実習で習得した薬剤師としての基礎的知識や技能を基に、より専門性が高い薬剤師に必要な知識・技能・態度を修得する目的で、ファーマシューティカルケア総合演習を行っています。学生は、23プログラムの中から自分のニーズに合わせて2単位を選択して履修します。

## ●多職種連携教育の具体的な内容

回答なし

## ●多職種連携教育を行う医療施設名

回答なし

## ●薬剤師国家試験への取り組み

薬剤師国家試験は薬学部で履修する基礎専門科目および専門科目のすべてに亘って出題されます。問題数は345問です。内訳は、物理・化学・生物（60問）、衛生（40問）、薬理（40問）、薬剤（40問）、病態・薬物治療（40問）、法規・制度・倫理（30問）、実務（65問）です。これらの問題はさらに、基礎的な必須問題、やや高度な知識と理解を必要とする理論問題及び実践問題に分類されます。薬剤師国家試験に合格するためには、1年次から確実に各科目を学修することが必要です。6年生には5年次までの総復習として、薬学部教員による「薬学総論」を実施します。この科目で、薬剤師国家試験にも対応できるようになり、隔週の土曜日にはその週の演習の実施内容についての確認試験を実施し、到達度をチェックします。また、6年次生全員が、薬剤師国家試験予備校主催の全国統一薬剤師国家試験模擬試験を7回受験し、個人成績表を基にして担任教員によるきめ細かな学習指導・支援を行っています。さらに、夏期休暇期間、冬期休暇期間には薬剤師国家試験予備校講師による集中講義を行い、実力の向上を図っています。

## ●卒業研究について

卒業研究は、3年次後期から6年次にかけて実施しています。3年次前期に希望研究室調査のためのアンケートを実施

し、その結果をもとに3年次後期から全員が各研究室に配属され、研究室の教員の指導のもとに卒業研究を行っていきます。4年次生での共用試験（CBT、OSCE）の前や、5年次生での病院実務実習および薬局実務実習の期間などは卒業研究を中断せざるをえませんが、それ以外は基本的にそれぞれその研究室で卒業研究を行うことになっています。また、その研究成果は6年生の9月に開催される卒業研究中間発表会で全員が発表します。その際、各学生は教員や他の学生からの質問を受け、それに応答することになっています。最終的には卒業までに研究成果を卒業論文にまとめて提出します。

## ●4年制の教育目標・育成する人材

回答なし

## ●4年制学科のカリキュラムの特色

回答なし

## ●入試の変更点

回答なし

## ●入試に合格するためのアドバイス

福山大学では多様な入試を実施しています。（1）総合選抜（一般）では、志望学科への目的意識、情熱、意欲、可能性などを評価する面接重視の選抜方式です。（2）指定校推薦型選抜では、高等学校の調査書や面接試験により合否判定します。（3）公募制推薦型選抜では、英語と理科（化学基礎または生物基礎のうち1科目）の計2科目の基礎学力検査、面接および調査書の総合成績により合否判定をします。（4）一般選抜（前期及び後期）では、英語、数学および理科（化学基礎・化学または生物基礎・生物のうち1科目）の計3科目の学科試験の成績により合否判定をします。学科試験においては、いずれの科目も基本的な知識と理解力を問う問題が中心です。

英語では基本語彙、基本例文をしっかり身につけ、教科書レベルの英文を読解できるようにしておくこと。数学では、高校の数学教科書の基礎的事項を十分に理解していれば正解が得られるレベルになっています。化学および生物では基礎的な事項に関する問題を出題します。いずれも教科書の内容から重要な用語、法則を理解し、教科書傍用の問題集を用いて演習を繰り返すことが効果的です。（5）大学入学共通テスト利用選抜（前期及び後期）では、共通テストで受験した科目の中から本学が指定した3科目の得点を使用して、合格判定しますので、個別学力試験は課しません。詳細は福山大学のホームページを参照して下さい。

### ●過去問を公開しておられますか

入試のしおりで公募推薦型選抜の問題を公開

<https://www.fukuyama-u.ac.jp/entrance/digital-pamph/>

### ●面接や小論文について教えてください

回答なし

### ●大学独自の奨学金制度

回答なし

### ●地域のアパート・マンションのモデル

#### 家賃

20,000～55,000円/月（バス、トイレ付き）。

大学構内に女子寮（入寮時のみ入寮費20,000円、寮費330,000/年（食費、光熱費別））

### ●オープンキャンパスの日程

オープンキャンパス 2023年6月17日

オープンキャンパス 2023年7月22日

オープンキャンパス 2023年8月20日

オープンキャンパス 2023年9月9日

三蔵祭 2023年10月28日～10月29日

オープンキャンパス 2024年3月16日